

【専門分野】

科目名	老年看護学概論	講師名	専任教員	学	1	履修期	第2学期			
単 位	1単位			年						
時間数	15時間									
講師実務経験	看護師としての臨床経験、看護管理者としての実務経験あり。									
授業概要	<p>老年期にある個人を多面的に専門的視点に立って学ぶことにより、発達段階にある老年期の特徴を理解する。また、高齢者の人権を守るための保健医療福祉システムを理解し、高齢者に対する看護の役割の重要性を学ぶ。</p>									
授業科目目標	<p>1. 老年期にある対象の特徴と加齢の変化に応じた看護の役割について理解できる。 2. 老年期にある対象の保健福祉活動および倫理的課題について理解できる。 3. 老年期にある対象の機能と役割および看護理論について理解できる。</p>									
授業計画	<p>1回：高齢者の理解 1) 社会における老年期の特徴 2) ライフサイクルにおける老年期の発達課題 (エリクソン、ハヴィガースト、ペック、バトラー) 3) 高齢者のスピリチュアリティ</p> <p>2～3回：加齢に伴う変化 1) 身体的・生理的機能の変化と日常生活への影響 2) 心理・社会的機能の変化と日常生活への影響</p> <p>4回：高齢社会における保健医療福祉の動向と課題 1) 人口高齢化現象と課題 2) 高齢社会における家族形態と課題 3) 高齢者の自立支援のための保健医療福祉システム (1) 老人福祉法、老人保健法、高齢者医療確保法、介護保険制度</p> <p>5回：老年看護の倫理的課題 1) 身体拘束 2) 高齢者虐待 3) 成年後見制度</p> <p>6回：老年看護の機能と役割 1) 老年看護の特徴 2) 老年看護の活動の場 3) 健康状態に応じた老年看護の機能と役割 4) 自立への支援</p> <p>7回：老年看護に活用できる理論・アプローチ 1) サクセスフル・エイジング 2) エンパワメント 3) ウェルネスアプローチ 4) ストレングスモデル 5) コンフォート理論</p> <p>8回：終了試験</p>					講義	講義	講義	講義	講義
評価方法	筆記試験									
テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 老年看護学, 医学書院.									
参考書	1. 国民衛生の動向 2020年度版, 厚生統計協会.									
学生へのメッセージ	<p>人は老いを背負ってみてはじめて、老いることのつらさや悲しさ、惨めさを感じるものです。しかし、老いをまだ体験していない皆さんはそのことを実感しにくく、表面的に事実を受け止めて理解したと思込んでしまうこともあります。授業を通して老いとは何かを洞察し、高齢者像をより実像に迫る豊かな言葉で表現できるようになってほしいと思います。また、ますます高齢化が進んでいる現状から、老年看護学は毎年看護師国家試験に多く出題される科目の1つです。日頃から、ニュースや新聞に目をおし、高齢者問題に興味関心をもつようにしましょう。</p> <p>【関連科目】心理学、倫理学、社会福祉、関係法規Ⅰ、成人看護学概論</p>									